

堤栄三・えんど久子 国会議員らと共に

豪雨災害の現地をすぐに調査

氾濫の当日すぐに被災地へ

7日朝に水害に見舞われた日田市に当日7日に、田村たかあき衆議院議員らと共に調査に入りました。玖珠川が氾濫した天ヶ瀬温泉街では、片付けをしていたホテルの方から「声をかけてウチのホテルにも避難してもらった。昭和28年の水害を経験したが、それを上回る被害だ。7月1日に再開したばかりで予約も入っていたのに…」との声が。

新たな支援策も必要

田村衆議院議員は「これまでの施策をフル稼働させた支援に加え、新たな施策も必要だ」と、被災者を激励し、国会の小池晃さんらとすぐに連絡を取るなど即対応。堤栄三県議は、移動中の車中から災害救助法をと大分県に連絡をとりました。

災害救助法で支援を強化

その翌日8日、災害救助法が7月6日まで逆のぼり、日田市・由布市・九重町・玖珠町に適用されることが決まりました。これにより、炊き出しの食材や調理器具や炊事場の確保、仮設風呂の設置、障害物の除去や緊急仮設住宅、住宅の応急補修などに助成が出ます。

小規模事業者へのグループ補助金や営業再開や生業の再建のための助成などを大分県など行政に求めていきます。

これまでも支援策充実に努力

これまでも日本共産党は、各地の災害の度にすぐに被災地へ駆けつけ、制度の改善に努力してきました。みなさんと力を合わせることで、少しずつ充実させてきました。

昨年からは準半壊の住宅の応急修理に30万円まで出るようになりました。



7日に床上浸水した日田市北友田市営住宅前。住民のみなさんにお見舞いを述べ、三隈川の様子を見る左からえんど久子・堤栄三両県議、田村貴昭衆議院議員。この翌8日未明に再びこの場所で氾濫しました。 20. 7. 7.

日本共産党 県政ニュース

発行 日本共産党大分県議団
大分県議会議員 えんど久子

TEL・FAX 097-537-2344

No.42

2020.7.14.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

市長も住民のみなさんも

生活道路は一日も早く復旧を



大分川が氾濫した挟間の天神橋にてえんど県議と仁比氏（上の写真）
建物の土台部分の護岸が崩れた湯平花合野川（下）多くの川（２級
河川）の管理や整備は県の仕事です。 20. 7. 12.

「早くお客さんを迎えたい」と温泉旅館

7月12日えんど久子県議は、由布市の被災地で仁比そうへい前参議院議員と共に調査。

由布市役所では、阿蘇野から戻った市長と懇談。「生活道路の確保を一日も早く。公的補助がない農地や宅地の裏山など小規模な被害が多い。JRも被害が多数出た」などと相馬市長。「施設の復旧再建に国の予算

を活用できるようにがんばります。声を上げてほしい」と仁比さん。

湯平では「応急的にでも安全確保してもらい、早く安心してお客さんを迎えたい」と女将さん達。

えんど県議は、13日の県議会会派代表者会で由布市長や被災者の声を紹介し、支援策強化を求めました。

平和行進 今年も別府を歩く



別府市役所前にて。この後、市役所と市議会を訪問。副市長と市議会議長に対応いただきました。 20. 7. 10.

7月10日、平和行進が別府駅から別府市役所まで歩きました。毎年宮崎から広島まで通して歩く通し行進者と共に県内参加者はリレーで歩きます。今年は、コロナ対策のため歩く距離は短縮したものの元気に歩きました。
白石昇さん（元別府市議）の遺志をつぎ、今後も続けていきたいと思います。